（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表（放課後等デイサービス）

○事業所名	ELEVAR南丹			
○保護者評価実施期間	R8年3月10日	～	R8年4月20日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	11	（回答者数）	11
○従業者評価実施期間	R8年4月1日	～	R8年4月20日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	3	（回答者数）	3
○事業者向け自己評価表作成日	R8年5月1日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
	子どもを支援していく上で、支援プログラムや支援内容など、丁寧に説明を行い、保護者と一緒に支援を進めるという方針で進めていること。また、支援内容は子どもの実態に合わせて、随時、変更しながら進め、画一的、固定的な支援にならないようにしていること。	支援内容については、子どもの実情に合わせ、個別支援、小グループ学習を進めるための活動計画を決めて行うなど、子どもをよく知る担当が支援内容を考えるようにしている。但し主観的にならないように、職員全体で活動内容を修正するなどして客観的に進められるようにしている。	支援している様子や支援内容のグッズなど、取り組み内容をHPやSNS等で発信したり、保護者の実践されている支援内容を取り入れたりすることで、幅広く意見や情報を取り入れられるようにすることで充実していく。
2	支援を進めていく上で保護者との連携（保護者支援）を重要と位置付けており、定期的に面談を行うことや通宜、助言を行うなど、保護者と一体となった支援を進めていること。保護者からも共感的に捉え、支援の協力を得ることができていること。	定期的な面談以外にも、必要に応じて電話やLINE等による連絡体制の仕組みをつくり、いつでも連携できるようにしている。また、支援については相談支援員との連携も密にすることで、保護者が安心できる支援が提供できるように心がけている。	保護者連携の仕組みとして、LINEと電話が中心となっているものの、細かいことや表情が伝わりにくい状況もあることから、オンラインを活用した相談等も取り入れることで更に連携を密にしていきたいと考えている。
3	子ども達が安心して来所し、楽しみながら活動をすることができるよう日々、活動内容を検討して進めていること。それにより、次も来たいという思いを抱き、活動意欲を持つことで効果的な支援を進められるようにしていること。	祝日や長期休暇期間中はイベントを開催して、子ども達が日常では経験しにくいことを体験したり、不安で取り組めないようなことを経験したりできる場を提供することで、楽しかったという経験を積む機会を提供するようにしている。	これまで行ってきたイベントで楽しみにしているものは、継続的に進め、新しい経験が積めるように、様々な企画をしていきたいと考えている。この中で地域連携を意識した計画も進めていきたい。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者向けの学習会や交流会、兄弟も含めた家族が参加できるイベントの企画など、利用児童の支援と別の支援内容の実施が不十分なこと。またこれを進めていくための、職員の知識・技能の向上も必要であること。	交流会や学習会を実施するにあたり、いつ開催できるのかという見込みが立てられていない。計画的、継続的に進められるようにし、またその内容等についてまとめていく職員の知識や技術不足も一因となっている。	職員の技術向上に向けた研修の充実を進め、それと並行して保護者とともに交流会や学習会を計画し、利用児童の支援に向けて、保護者と一体となった仕組みづくりが必要と考えている。
2	近隣の施設（学童、児童館、店舗）等、地域連携が不十分であり、地域の子ども達や高齢者等と一緒になった取り組みを計画し、地域に根差した支援が必要であること。また機会や場の設定が難しい場面でも、ICT機器を活用した計画を進められていないこと。	地域交流の仕組みとして、関係施設との連携ができていない点が要因としてあげられる。日々の児童の支援に追われている状況により、連携を進めていくための時間の確保が十分にとれておらず、明確な交流案がないことが考えられる。	地域で行われている催し等に参加する活動計画を立てるなど、日々の支援の中に地域交流の機会を盛り込むことや、保護者と一緒に参加する活動を企画し、地域交流を目的とした計画を進めていく。
3	事故防止、緊急時対応、防犯、感染症に関わる対応マニュアルについて策定しているものの、保護者への周知や職員の徹底が不十分であり、利用関係者に関わらず誰もが分かるような発信が必要である。また非常災害時の対応にも活かせるような定期的な確認をすることが大切である。	各マニュアルの対応について、限られた研修だけでなく、日常的に確認できる体制づくりが必要であり、マニュアルを確認しないと実行できない状況である。また保護者の協力を求めるための啓発もできていないことが考えられ、公表する仕組みづくりも必要である。	HPやSNSを利用した発信、オンラインを活用した勉強会や保護者学習会を利用した啓発活動など、何かの機会がある度に周知する仕組みづくりを行う。また、マニュアルの常設場所を工夫し、いつでも確認しやすい環境設定を進めていく。

（別紙４）

公表　保護者等からの事業所評価の集計結果（放課後等デイサービス）

事業所名	ＥＬＥＶＡＲ南丹

公表日 年月日　2026年5月7日

対象児童数　11　回収数　11

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	1	こどもの活動等のスペースが十分に確保されていると思いますか。	9	2			人数が多いときは動きづらいらしい。	グループ活動や外遊びなどの活動内容を工夫し、全員で行う活動以外の支援ができるようにしていきます。
	2	職員の配置数は適切であると思いますか。	3	5		3	来所数が少ないため分からない。	職員体制が明確になるようにしていきます。
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっていると思いますか。また、事業所の設備等は、障害特性に応じて、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされていると思いますか。	8	1		2		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっていると思いますか。また、こども達の活動に合わせた空間となっていると思いますか。	9	1		1		
適切な支援の提供	5	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	1				
	6	事業所が公表している支援プログラムは、事業所の提供する支援内容と合っていると思いますか 。	10	1				
	7	こどものことを十分理解し、こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画（個別支援計画）が作成されていると思いますか。	11					
	8	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援 」で示す支援内容からこどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されていると思いますか。	11					
	9	放課後等デイサービス計画に沿った支援が行われていると思いますか。	10	1				
	10	事業所の活動プログラムが固定化されないよう工夫されていると思いますか。	9	2				
	11	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会がありますか。	3	3	4	1		現状では交流の機会を設けていませんが、地域連携の観点から、今後、計画していきたいと考えています。
保護者への説明等	12	事業所を利用する際に、運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明がありましたか。	11					
	13	「放課後等デイサービス計画」を示しながら、支援内容の説明がなされましたか。	11					
	14	事業所では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等も参加できる研修会や情報提供の機会等が行われていますか。	10			1		オンラインによる相談や、学習会など、保護者が参加できる機会を計画していく予定です。
	15	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	9	2				
	16	定期的に、面談や子育てに関する助言等の支援が行われていますか。	10	1				
	17	事業所の職員から共感的に支援をされていると思いますか。	9	2				
	18	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされているか。また、きょうだい向けのイベントの開催等により、きょうだい同士の交流の機会が設けられるなど、きょうだいへの支援がされていますか。	8	1		2		学習会とともに交流の機会を設けるように計画しており、今後は参加できるイベントを増やしていきたいと思います。

	19	こどもや家族からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、こどもや保護者に対してそのような場があることについて周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されていますか。	8	1		2	お迎えの時間を対応してもらい助かっています。	柔軟に相談できるようにしていますので、気軽にご相談ください。
	20	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされていると思いますか。	9	2				
	21	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	10			1		
	22	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	10	1				
非常時等の対応	23	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	6	1		4		研修として机上で行うものと、体験や訓練を通して学ぶものがあり、マニュアルに沿って実施しています。
	24	事業所では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練が行われていますか。	6	1		4		避難訓練に加え、非常災害時の役割分担を含めた訓練も行っています。
	25	事業所より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか 。	8	2		1		安全面の配慮について、保護者様から分かるように周知していきます。
	26	事故等（怪我等を含む。）が発生した際に、事業所から速やかな連絡や事故が発生した際の状況等について説明がされていると思いますか。	7	1		3	今までにない。	事故対応マニュアルを含め、保護者の皆様が安心できるように周知していきたいと思いま
満足度	27	こどもは安心感をもって通所していますか。	11					
	28	こどもは通所を楽しみにしていますか。	9	2				
	29	事業所の支援に満足していますか。	9	2				

（別紙５）

公表　事業所における自己評価結果（放課後等デイサービス）

事業所名	ＥＬＥＶＡＲ南丹	公表日	2026年　5月　7日	回収数	3

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	3			
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、 職員の配置数は適切であるか。	3			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	3			
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	3			
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	3			
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	3			
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	3			
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	2	1		第三者による外部評価は行っていませんが、地域内の関係機関や事業所等の意見を踏まえ、業務改善に活かしていきます。
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	3			
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	3			
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	3			
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	3			
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか 。	3			
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	3			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	3			
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	3			

援の提供	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	3			
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	3			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	3			
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	3			
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	3			
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	3			
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「４つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	3			
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	3			
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	3			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	3			
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	3			
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	3			
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	2	1		必要に応じて、連携会議に参加したり、資料等の提供を行っていく必要があると考えています。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか 。	3			
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。		3		現状は実施できていませんが、今後、地域連携の観点から計画を進めていきたいと思います。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	2	1		現状では参加予定もありませんが、今後、機会がありましたら参加していきます。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	3			
	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	3			
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	3			
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	3			
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか 。	3			

保護者への説明等	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	3			
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	3			
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	3			
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	3			
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	3			
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	3			
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		3		地域連携の強化に加え、保護者と一体となった活動を計画することで実施していきたいと思います。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	3			
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	3			
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	3			
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	3			
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	3			
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか 。	3			
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	3			
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	3			
	54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	3			